

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	新型コロナウイルスの感染予防の為、多くの期間を面会中止や外出の自粛の対応を施設として制限を行っている。入居者と家族との関係性を低下させてしまい双方にも心配や不安な気持ちを抱かせてしまっている状況の為、感染予防を実施しながら家族と入居者、事業所との関係性の低下を防ぐと共に完成性を継続していきたい。	直接会う機会が少なくなっても、ご家族様が不安や心配に思う気落ちをを少しでも軽減できる様な取り組みを行い、感染予防の為の制限があっても入居者とご家族の関係性を保つ事が出来るようになる事。感染状況と感染リスクを判断して、入居者と家族が交流できる環境と時間を設ける事が出来る様にする。	①ご家族への近状報告を2カ月に1度行っていく。毎月の郵送物に近状報告のお手紙を介護スタッフで書き写真と共に同封する。②ご家族が施設に来られた際(パットや紙パンツ、衣類等の持参時)に一目でもお顔を見て頂く様に促していく。③面会可能の期間と面会禁止の期間を明確に示して感染状況に合わせて入居者と家族が交流できる機会を設けていく。その際は、標準的な感染予防の実施と条件を設けて感染対策には十分に配慮する事。	1～12ヶ月
2	25	入居者の方が、日中何をすることもなくただ座って過ごしている時間帯が多くなってきている様に感じる。入居者の方と共に生活を過ごし、調理や掃除洗濯などの活動を増やし、入居者の方が生活の中で活動する時間を増やしていく事が必要と感じる。	入居者の方が、残された残存機能を活かして、日々の生活の中で、その能力を活かして活動し役割りや生きがい、楽しみを持って日々の生活を過ごす事が出来るようになる。日中の活動を通じて身体状況の低下や認知症の進行を防ぐと共に、生き活きと生活を送り充実した日々を過ごす事が出来るようになる。	①その方が出来る事と出来ない事を職員間で情報共有し、またグループホームでの生活の過ごし方について振り返り、職員が共通意識を持って業務にあたる事が出来る様にする。②入居者の方と共に調理や掃除、洗濯といった家事を中心に活動への参加を促していく。その際に入居者の意思を尊重し負担になり過ぎない様に配慮して内容や時間帯を明確にして、やる気になる声掛けや役割をもち満足感や達成感を感じられる様なコミュニケーションを図っていく。	1～2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。